

総務文教常任委員会

令和２年９月２５日（金）

午前１１時～

全員協議会室

１ 開議

２ 事務局日程説明

３ 議案審査

生涯学習部

（１） 第１号議案 令和２年度亀岡市一般会計補正予算（第５号）

（文化振興経費、京都スタジアム関連事業経費）

<説明～質疑>

４ 討論～採決

５ その他

- ・議会だよりの掲載事項について
- ・次回の日程等について

9月25日（金）総務文教常任委員会時説明依頼事項

文化振興経費

SDGs未来都市モデル事業について

- ① 自治体SDGsの執行体制は
- ② SDGs未来都市モデル事業予算の内訳は
- ③ SDGs未来都市モデル事業の交付金がなくなれば、来年はどうするのか
- ④ モデル事業の拠点をなぜ市役所地下レストランに整備するのか
- ⑤ 開かれたアトリエのレイアウトイメージ、エリアごとの趣旨と活用方法は
（簡単なレイアウト図があれば提出いただきたい）
- ⑥ 開かれたアトリエの事業効果は（市民のためになるのか）
- ⑦ レストラン事業者との契約はどうなるのか
- ⑧ 保健所の許可がおりるのか
- ⑨ 食事が出来る場所で事故が起きた場合、責任はどうなるのか
- ⑩ 霧の芸術祭をリーディング事業とするなら、どのように展開するのか
- ⑪ 霧の芸術祭にどこまで市の中核を担わせるつもりか
- ⑫ 各部署にまだまだ関連事業を増やすのか
- ⑬ そうであれば、このままの体制ではとても行えないのではないのか

京都スタジアム関連事業経費

まるごとスタジアム構想について

- ① 趣旨は
- ② 内容は
- ③ スケジュールは
- ④ 何冊作るのか
- ⑤ 何のための指標になるのか
- ⑥ もっと安くできるのではないのか（委託しなくても内部で作れるのでは）
- ⑦ なぜ当初予算でなく補正予算なのか
- ⑧ 委託料400万円の内訳は
- ⑨ コロナ対策としての事業効果は（市民のためになるのか）

亀岡市SDGs推進本部設置要綱

(設置)

第1条 「持続可能な開発目標（以下「SDGs」という。）」の達成に向けた取組を効果的に推進するため、亀岡市SDGs推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) SDGs未来都市計画の推進に関すること。
- (2) その他SDGs達成に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 本部は、部長会議（亀岡市庁議等に関する規則（平成15年亀岡市規則第15号）に定める部長会議をいう。）の構成員をもって組織する。

(本部長)

第4条 本部に本部長を置き、市長がこれに当たる。

2 本部長は、会務を総理し、本部を代表する。

(副本部長)

第5条 本部に副本部長を置き、担当副市长がこれに当たる。

2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 本部の会議は、本部長が必要に応じて招集し、本部長が議長となる。

2 本部長は、会議に必要があると認めるときは、関係職員を会議に出席させ、その説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(幹事会)

第7条 SDGs未来都市計画に掲げる事業の実施及び進捗管理を行うために、本部に事業所管課長からなるSDGs未来都市推進幹事会（以下「幹事会」という。）を置く。

- 2 幹事会は、別表に掲げる者をもって組織する。
- 3 幹事会に座長を置き、文化国際課長がこれに当たる。
- 4 幹事会の会議は、座長が招集する。
- 5 座長が必要と認めるときは、幹事会の構成員以外の者を幹事会に出席させることができる。

(庶務)

第8条 本部の庶務は企画管理部企画調整課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、令和2年8月6日から施行する。

別表（第7条関係）

SDGs未来都市推進幹事会	文化国際課長
	総務課長
	環境政策課長
	商工観光課長
	農林振興課長

令和2年9月議会 自治体SDGsモデル事業に係る補正予算内訳

15ページ

(単位：千円)

			SDGs未来都市モデル事業		執行予定内容
			全体マネジメント ・普及啓発等経費	事業実施経費 (開かれたアトリエ整備)	
◎庁舎維持管理経費増	10,590				
	工事請負費	10,590		10,590	開かれたアトリエ整備工事
◎電算管理経費増	3,410				
	電子計算事務委託料	3,350		3,350	開かれたアトリエWIFI整備
	その他使用料	60		60	
◎文化振興経費増	26,000				
	報償費	1,500	1,500		SDGsアドバイザー、シンポジウム講師謝金等
	普通旅費	300	300		
	需用費	1,000	1,000		
	業務委託料	23,000	14,800		普及啓発事業（かめおか霧の芸術祭実行委員会に委託）
			2,200		計画策定リサーチ業務（（一社）きりぶえに委託）
				6,000	開かれたアトリエ設計等（京都芸術大学に委託）
	使用料	200	200		会議会場等使用料
小 計			20,000	20,000	

財源内訳	20,000		地方創生支援事業費補助金	補助率10/10
		10,000	地方創生支援事業費補助金	補助率1/2
		10,000	ふるさと力向上基金繰入金	



▲「ややおや」による亀岡野菜の販売



▲ アップサイクルスタンド・エコの拠点



▲ 地上階広場を使ったマルシェと運動



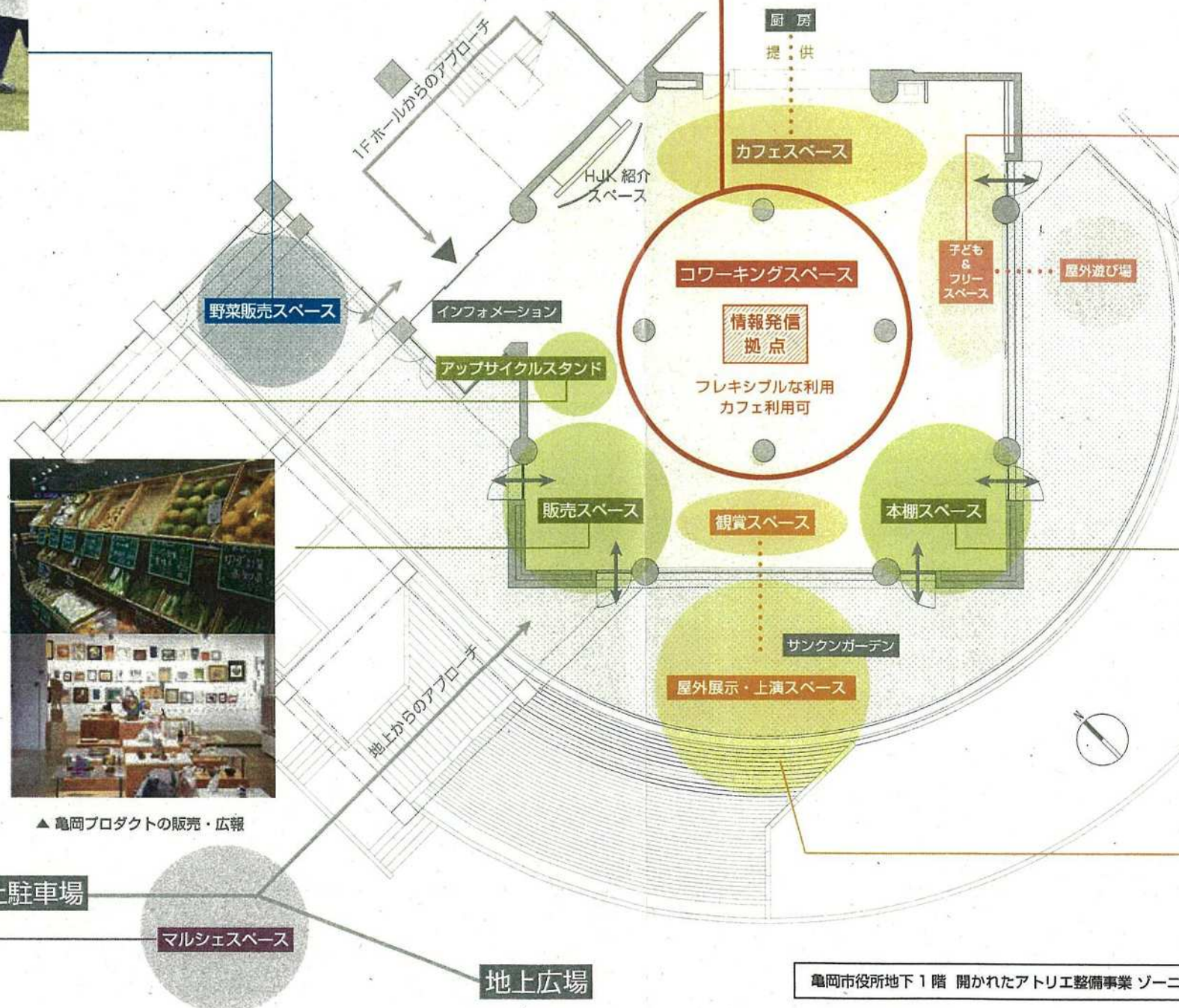
▲「開かれたアトリエ」の核となる協働の場「ワーキングスペース」
※ランチ時の客席利用やカフェ利用とフレキシブルに併用



▲ レイアウトによって 10-15 人程度の会議も可能。



▲ いつでも web 配信可能なスタジオスペース



▲ 子ども用スペース（屋外と運動）



▲ 本棚スペース・亀岡の知の集積所



▲ 屋外空間の有効活用

かめおか霧の芸術祭 × X
イノベーションハブ
「開かれたアトリエ」
基本構想図

亀岡市役所地下1階 開かれたアトリエ整備事業 ソーニング案

令和2年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

概要

- 中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、地方自治体によるSDGsの達成に向けた取組を推進していくことが重要。
- SDGs推進本部会合における安倍総理指示を踏まえ、地方創生分野における日本の「SDGsモデル」を構築していく。
- 地方創生分野における日本の「SDGsモデル」の構築に向け、引き続き、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として33都市を選定。また、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として10事業を選定する。

※平成30年度及び令和元年度において、「SDGs未来都市」として60都市を選定。「自治体SDGsモデル事業」として20事業を選定。

- 今後、これらの取組を支援するとともに、成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていく。

SDGs未来都市

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、**経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域**として選定

地方創生推進交付金の、申請事業数上限の枠外として、1事業追加可能

自治体SDGsモデル事業（10）

上限3千万円／都市

定額補助	上限2千万円
定率補助（1/2）	上限1千万円

- ①経済・社会・環境の三側面の統合的取組による**相乗効果**の創出
- ②多様なステークホルダーとの**連携**
- ③**自律的好循環**の構築

SDGs未来都市の中で実施予定の先導的な取組として選定

地方公共団体によるSDGsの基本的・総合的取組の中でも特に注力的に実施する事業であり、**SDGsの理念に沿った統合的取組により、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であって、多様なステークホルダーとの連携を通じ、地域における自律的好循環が見込める事業**

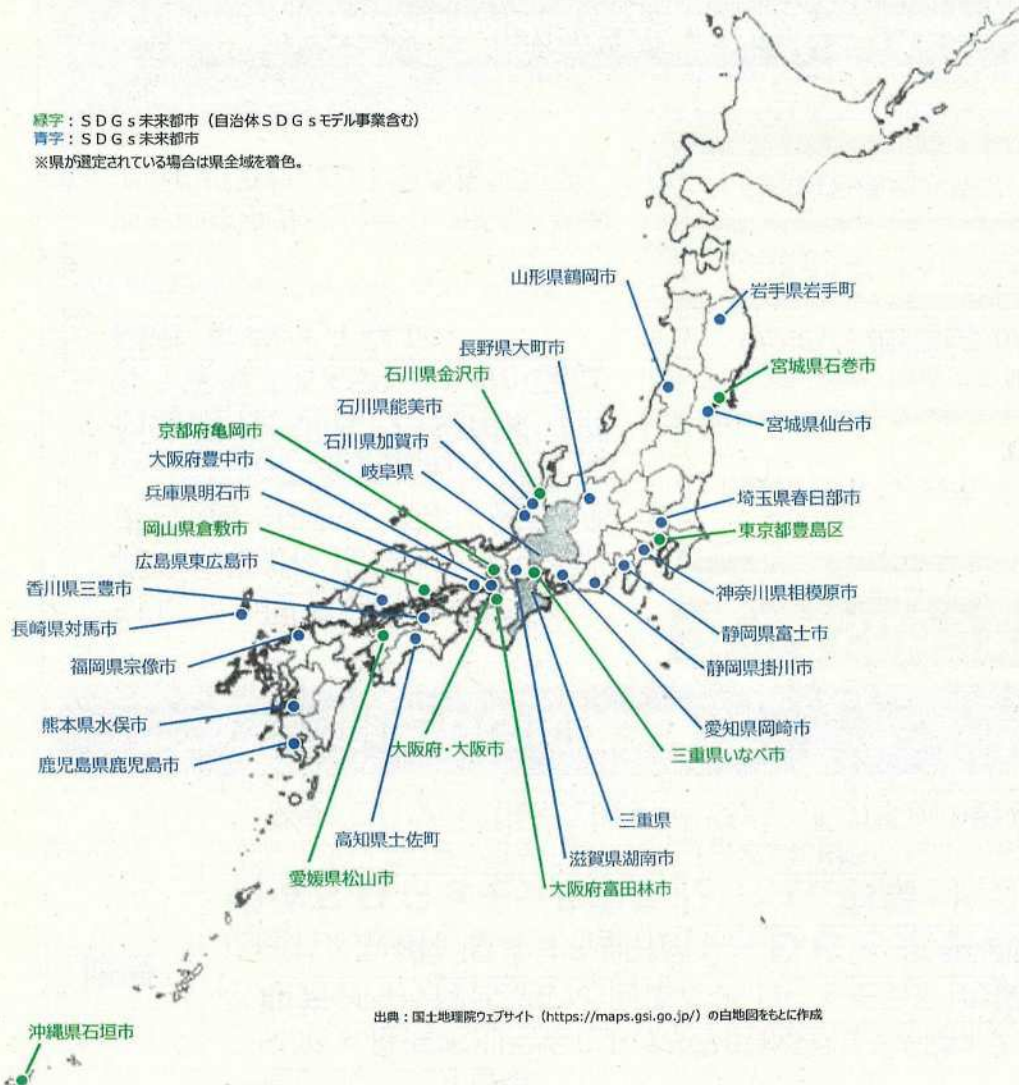
成功事例の普及展開

自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的な支援（計画策定・事業実施等）

持続可能なまちづくり

2020年度SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業選定都市一覧

緑字：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）
青字：SDGs未来都市
※県が選定されている場合は県全域を着色。



出典：国土地理院ウェブサイト（<https://maps.gsi.go.jp/>）の白地図をもとに作成

	都市名	提案タイトル
(自治体SDGsモデル事業含む)	宮城県石巻市	最大の被災地から未来都市石巻を目指して ～グリーン・スマートシティ「おたがいさま」で支え合う持続可能なまちづくり～
	東京都豊島区	消滅可能性都市からの脱却 ～持続して発展できる「国際アート・カルチャー都市」への挑戦～
	石川県金沢市	世界の交流拠点都市金沢の実現 ～市民と来賓者が「しあわせ」を共創するまち～
	三重県いなべ市	グリーンクリエイティブいなべ ～グリーンインフラ商業施設「にぎわいの森」から、カジュアルなSDGs推進を世界へ～
	京都府亀岡市	「かめおか霧の芸術祭」×「X（かけるエックス）」 ～持続可能性を生み出すイノベーション～
	大阪府・大阪市	2025年大阪・関西万博をインパクトとした「SDGs先進都市」の実現に向けて
	大阪府富田林市	SDGsを共通言語としたマルチパートナーシップによる「富田林版」いのち輝く未来社会のデザイン
	岡山県倉敷市	多様な人材が活躍し、自然と共存する「持続可能な流域暮らし」の創造 ～高梁川流域圏の発展は倉敷市の発展～
	愛媛県松山市	みんなを笑顔に「観光未来都市まつやま」 ～瀬戸内の島・里・山をつなぐまち～
	沖縄県石垣市	自然と文化で創る未来 ～守り・繋ぎ・活かす島 石垣～
SDGs未来都市	岩手県岩手町	トリプルボトムラインによる町の持続可能性向上モデルの構築・実証 ～SDGs姉妹都市×リビングラボ～
	宮城県仙台市	「防災環境都市・仙台」の推進
	山形県鶴岡市	森・食・農の文化と先端生命科学が共生する「いのち輝く、創造と伝統のまち 鶴岡」
	埼玉県春日部市	春日部2世、3世の先へと住みつなぐまち ～未来へ発信する世代循環プロジェクト～
	神奈川県相模原市	都市と自然 人と人 共にささあい生きる さがみはらSDGs構想
	石川県加賀市	官民協働のスマートシティによる持続可能なまち
	石川県能美市	能美市SDGs未来都市 暮らしやすさ日本一実感できるまちへ
	長野県大町市	SDGs共創パートナーシップにより育む「水が生まれる信濃おおまち」サステナブル・タウン構想
	岐阜県	SDGsを原動力とした持続可能な「清流の国ぎふ」の実現
	静岡県富士市	富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ
	静岡県掛川市	市民協働によるサステナブルなまちづくり
	愛知県岡崎市	“みなも”きらめく 公民連携サステナブル城下町 OKAZAKI ～乙川リバーフロントエリア～
	三重県	若者と創るみえの未来 ～持続可能な社会の構築～
	滋賀県湖南市	さりげない支えあいのまちづくり かなんSDGs未来都市の実現【シュタットベルク構想】
	大阪府豊中市	とよなかSDGs未来都市 ～明日がもっと楽しみなまち～
	兵庫県明石市	SDGs未来安心都市・明石 ～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～
	広島県東広島市	SDGs未来都市東広島 未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市
	香川県三豊市	せとうちの海と山とまち ～ひろく豊かな田園都市・多極分散ネットワーク型みよと形成事業～
	高知県土佐町	持続可能な水源のまち土佐町 ～人々の豊かな営みが「世界」を潤す水を育む～
	福岡県宗像市	「世界遺産の海」とともに生きるSDGs未来都市 むなかた
	長崎県対馬市	自立と循環の宝の島 ～サーキュラーエコノミーアイランド対馬～
	熊本県水俣市	みんなが幸せを感じ、笑顔あふれる元気なまちづくり
	鹿児島県鹿児島市	“活火山・桜島”と共生し発展する持続可能なSDGs未来都市・鹿児島市

SDGs未来都市モデル事業【かめおか霧の芸術祭×X】

三側面をつなぐ統合的取組

芸術祭のイノベーションハブとなる「開かれたアトリエ」整備とプラットフォーム機能強化



「かめおかまるごとスタジアム構想」について

令和2年9月
生涯学習部

1. 構想策定の背景

- ・ サンガスタジアムby京セラのオープンや東京オリンピック・パラリンピック開催によるスポーツへの関心の高まり
- ・ ウイズ・コロナ社会における新しい生活様式の普及・定着への社会的要請…など

2. 構想の目的

亀岡の豊かな自然の中で、様々なスポーツやアクティビティ(※)を体験できる環境を整備することにより、

- スポーツ・アクティビティの実践を通じて、市民の健康増進、体力増強やQOL(生活の質)の向上を図るとともに、ふるさと亀岡のすばらしさを再認識し、シビック・プライド(郷土愛)を育てる。
- 多様なスポーツやアクティビティを「ビジネス資源」として捉えて、戦略的に育成・誘致・発展させ、他産業と連携させることにより、市内・市外から多くの人々を呼び込み、体験型観光の振興、地域経済の活性化や移住定住者の拡大につなげる。

(※)アクティビティとは山、川、海、湖など自然の中で行うアウトドア体験型レジャーの総称

3. 構想の主な内容(案)

- ① 市内の公共及び民間のスポーツ施設・アクティビティサイトの実態分析
(運営の実態と問題点、ポテンシャル…etc.)
- ② 新たなスポーツ施設・アクティビティサイトの育成や誘致の必要性と可能性
(グランピングなどのアウトドアスポーツ、eスポーツ、スケートボード、BMXetc.)
- ③ 基本戦略の樹立
 - ・ スポーツやアクティビティを巡る今後のトレンド及びマーケット分析
 - ・ コロナ禍における新たな生活様式におけるスポーツ・アクティビティの有効活用
 - ・ 亀岡に相応しいターゲット設定
 - ・ 情報発信の手法
 - ・ 新しいスポーツ施設やアクティビティサイトの育成・誘致の手法
 - ・ 地元商工業、観光業、農業との連携…etc.
- ④ 具体的施策展開の方向
- ⑤ 推進体制(公共・民間を含む構想推進ネットワークの構築)

かめおかまるとスタジアム構想策定スケジュール

構想策定委員会

○前頁の課題解決と目的達成のため、有識者等による構想策定委員会を設置。

- ・スポーツビジネス研究者
- ・スポーツビジネス実践者
- ・健康増進関係の研究者
- ・京都パープルサンガ
- ・京都スタジアム関係者

※オブザーバーとして経済・商工団体・スポーツ協会、アクティビティ事業者等を適時招聘

○令和2年度設置

- ・4回程度の会議開催（年度内）

○令和2年度10月～令和3年度で策定作業

構想策定フロー（令和2年度）

■令和2年度

○第1回会議

構想策定目的と現状把握と共通理解

○第2回会議

10年後のスポーツ環境の在り方検討

○第3回会議

具体的取組項目の抽出

○第4回会議

令和2年度まとめ（構想原案たたき台）

構想策定フロー（令和3年度）

■令和3年度

①ヒアリング調査を経て構想（案）策定

②パブリックコメント実施

※意見反映

③構想策定・公表

第5次皇岡市総合計画第3節（スポーツを活かしたまちづくり）

★構想項目の実施

（令和3年度～12年度の10か年）

亀岡市内アウトドアアクティビティ活動分布図



現状

亀岡市は京阪神からのアクセスに恵まれており、豊かな河川や盆地地形など自然環境を活かしたアウトドアスポーツを実施している。



課題

アウトドアスポーツを実施している各事業者や団体は独自に活動しており、その結果「亀岡市＝スポーツフィールド」という市全体でのイメージ定着は出来ていない。